

新成人の誓い新たに

1月13日、町、農村環境改善センターで町教育委員会主催の平成31年成人式が開かれまし

対象は昨年より9人少ない116人。63人が出席しました。海外からは、農業研修で町内の農場に来ているベトナム人研修生、旭川福祉専門学校で日本語を学んでいるベトナム、タイの留学生合わせて7人が参加しました。

ベトナム、タイでは成人を祝う儀式や習慣はないそうです。初めての体験に「楽しみにしていました」「参加できてうれしかった」と日本文化体験として成人式を味わったようです。

松岡市郎町長は、「日本人も外国の人と一緒に暮らす社会が来ている。仲良く融和、平和に暮らし、お互いにより良く繁栄していく暮らしが必要。革新とともに伝統文化を大切にしながらチャレンジすることが必要」とエールを贈りました。

昨年10月から日本語学校で勉強しているベトナム人のヴァー・ティ・フォンさん(20)はすでに日本語能力検定の



N2クラスの實力だそう。「卒業したら帰国してハノイ・ノイバイ空港で地上職として働きたい」と目標を話しました。

「中学校の英語の先生を目指します。8月には教育実習に来ます」「陸上自衛隊員として日本を

守ります」「将来は東川に戻って健康運動をサポートする仕事をしたい」「4月から工専から大学に入学します」「ドラムのメンテナンス、修理をする

優秀なドラムテックに」「大学でまちづくりを学んでいます」「保育士になるため社会学科で勉強中」など、これからの人生に向かってそれぞれ夢や希望を披露しました。

消防出初め、新年に防災誓い

1月5日、大雪消防組合東川消防団(林克政団長、5分団89人)が消防出初め式を行い、防災の誓いを新たにしました。

午前10時、氷点下4・5度の曇天で雪の降らない穏やかな年賀の出初めを迎えました。



73人の団員が役場庁舎前に集合し、新たな年の災害ゼロを託して松岡市郎町長、高橋昭典町議会議長らが団観閲しました。

その後町内中心市街地の道道旭川旭岳温泉線(通称基線道路)約500mを分列行進し、町民に一年の防災への備えを呼びかけました。

「おいしい!」と舌鼓。

今年で3年目。韓国、中国、台湾、タイ、インドネシア、ベトナム、モン

ゴル7カ国・地域(順不同)から約40人が参加しました。アジアの国々には米食の文化があるので、餅つきを知っているかと思いきや、ベトナム、モンゴルの学生

分列行進後、東川町農協大ホールで同団の功績者表彰式を行い、14人を表彰しました。表彰者は次の通り(敬称略)。

◆知事表彰(東川町、北海道消防協会表彰同)
▼勤続30年 林克政(団本部団長)、馬場伸二(第5分団分団長) ▼同20年 中田博之(第3分団班長) ▼藤川晴貴(第4分団員)、佐竹国広、堀部祥広(同同)

- ◆(第5分団同) 東川町表彰
- ▼勤続25年 畑中貴樹(第4分団副分団長)
- ▼同15年 宮崎充嗣(第3分団員)
- ◆大雪消防組合表彰
- ▼勤続20年 中田博之(第3分団班長)
- ◆東川消防団連合後援会長表彰
- ▼同5年 滝本旭人(第2分団員)、古高良記(第4同)、砂金宜秀(第5同)、石山一樹(同同)、
- ◆旭川治安協会
- ▼功労者表彰 金盛勇松(前団長)

からは「知らない」と興味津々。最初は遠慮気味ながら、代わる代わる交代で杵を持ち、おぼつかない腰つきながら餅つき体験しました。

インドネシアから来日したアリアさん(23)は「テレビの日本ドラマで見たことがあるだけ。もっと強くやってみたい」と日本の餅つき文化を実感できました。

日本語留学生在が餅つき

1月21日、社会福祉協議会の生き生きセンターで、町立日本語学校で学ぶ外国人留学生在が餅つきを体験しました。つきあがったお餅はその場でつきたてのお餅を入れてぜんざい、きな粉餅にして

